

# 広報よさの Special Thanks 創刊 200 号 2006 ▶ 2022



当時を映す広報紙

平成18年に加悦町・岩滝町・野田川町が合併して誕生した町「与謝野町」。広報よさのは、同年3月に創刊し、町の動きや情報、住民の皆さんの活躍などをお伝えしてきました。それから16年。皆さんに支えられ、今月号で節目の200号を迎えました。

広報紙の役割は大きく2つあります。町の取り組みや出来事などを発信すること、当時の状況を後世に残すことです。これからの町の取り組みなどをお知らせするとともに、伝わりやすい紙面づくりに努めていきます。今月号では、歴代の広報担当者とともに広報紙を振り返ります。

## ▶▶▶ Let's プレイバック！

### 2006年3月号 (No. 1)

記念すべき創刊号。表紙は、本庁舎前で旧3町の町長らによるテープカットの様子です。紙面では旧3町の特徴、役場組織や職員配置などを掲載しています。



### 2011年9月号 (No.67)

与謝野町の基幹産業の一つ「農業」を4ヵ月にわたり特集。中でも、自然循環農業の根幹となる有機質肥料「京の豆っこ」について掲載しています。



### 2014年2月号 (No.96)

今季限りで現役引退をされるプロ野球・阪神タイガースの糸井嘉男選手を「よさの人」として紹介。魅力あふれるプレーで、与謝野町民に勇気と感動を与えてくれました。



与謝野町誕生という歴史的な場面に立ち会い、後世に伝える写真を残せたことは、広報担当冥利に尽きます。「このまちの主役は町民の皆さんお一人おひとりです」。これは、創刊号の表紙に書かせていただいたメッセージです。あれから16年。歴代担当者は、それぞれの視点で、この思いを誌面に表そうと試行錯誤してきました。201号からもご愛読いただけたら幸いです。(平成17年度～22年度担当)

農業特集記事が印象に残っています。当時は役場に入って問もないころで、多くの方のご協力のもと、手探りで取材・写真撮影・原稿執筆・編集を行いました。今読み返すと文章に未熟さを感じますが、発行後に関係者の方々に喜んでいただけたことや多くの方から感想をいただいたことがとてもうれしかったことを覚えています。(平成23年度～25年度担当)

「頑張る人を応援する、活躍している人を紹介するような広報紙に」との考えで作成していました。糸井選手はインタビュー中もユーモアがあり明るく、テレビで見ていたイメージどおりの方でした。また、岩滝少年野球クラブとの練習では、子どもたちをひきつけるのが上手く、プレーのみならず人としても愛される方だと感じました。(平成25年度～27年度担当)

### 2017年6月号 (No.136)

毎年6月号では、与謝野町の一大イベント「加悦谷祭」「岩滝祭」「三河内曳山祭」を特集。行政情報だけでなく、まちの出来事なども広報紙を通じてお伝えしています。



### 2017年7月号 (No.137)

平成29年7月に開校した「よさのみらい大学」。自分・地域・まちの未来を描き、主体的に行動する人材の育成を目的とした学び舎としての第1歩を掲載しています。



### 2019年8月号 (No.162)

与謝野町の新たな産業を目指し、平成27年度から取り組んできた「ホップ栽培」。日本初のフリーランスホップ産地として歩みはじめた様子を生産者に着目し掲載しています。



京都府広報賞の一枚写真の部で、表紙写真が一席を獲得。毎年、加悦谷祭には与謝地区へ通い詰めていたことを思い出します。この写真を撮った瞬間は「やった！」と鳥肌が立ったことを今でも覚えています。紙面を編集する職員にとって読者の皆さんからの声が励みになりますので、皆さんの声をお待ちしています。(平成17年度～令和元年度担当)

広報担当後、「よさのみらい大学」を担当しながら記事を書いていました。よさのみらい大学を通して、各講座の特色に応じた性別や年齢に関係なく多くの方に参加いただき、与謝野町の未来や地方創生の萌芽を目にすることができたように思います。今年度も3つのコースで開校していますので、ぜひご参加ください。(平成28年度担当)

生産者組合と行政の官民タッグによりホップ産地となり、クラフトビール販売に至るまでを紹介しています。まちとホップを愛する生産者の夢の詰まったホップ栽培の取り組みで、住民の皆さんにまちの魅力を再認識してもらいたい、活力を与えたいという思いで作成しました。(平成29年度～令和2年度担当)

してもらうことが大切です。今後も、読みやすい・分かりやすい紙面づくりに加え、住民の皆さんがこのまちを「好き」になるきっかけを広報紙を通じてお届けしていきます。(令和3年度～担当)



まちの「体温」を伝える広報紙へ

住民の皆さんや、多くの関係者の皆さんに支えられ今月号で節目の200号を迎えました。デジタル化が進む時代だからこそ、住民の皆さんが知りたい情報と町がお知らせしたい情報を読みやすく、分かりやすく、伝わりやすく掲載し、理解

これからの  
広報紙

与謝野町長  
山添 藤真  
くお願いします。

